

Drogger

SMS01 スピードセンサー 取扱説明書

この度は Drogger 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書をよくお読みになり正しく取り付けと設定を行ってください。本書中の警告や注意を守り、正しく安全にご使用ください。本書は紛失しないよう大切に保管してください。

本書では、正しく安全にご利用いただくための説明をします。具体的な取り付け例やアプリの使い方などは以下のページからご覧ください。

<https://www.bizstation.jp/ja/drogger/?tab=support>

最新情報、取扱説明書、アプリのインストール、Android 選び、取り付け方法などをご覧ください。(*通信料はお客様負担となります)



製品概要

本製品は、Drogger 本体ユニットに接続して使用するスピードセンサーです。



スピードセンサーは、ホイールに取り付けたマグネットと磁気センサーで回転速度を計測します。計測サイクル 50Hz*1 の高精細なログ記録が可能です。マグネットは標準で 6 個付属します。

*1 本体ユニットファームウェアバージョン 6.33 以上が必要です。6.32 の場合は 10Hz です。ファームウェアは、弊社にお送りいただくことで 最新に更新可能です。(有償 税・送料込 ¥3,000 2018 年 3 月現在)

安全上の注意事項 取り付けやご使用前に必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、取り付けとご使用は以下の注意事項を守って安全に行ってください。

マークの意味

 警告	人体に影響を及ぼしたり機器や財産に大きな損害を与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。
 注意	機能停止を招いたり正しく動作しない可能性があることを示しています。十分注意してください。

警告

- 取り付けには、車両と電気に関する専門的な知識を必要とします。知識をお持ちでない方は作業を行なわないでください。専門家に依頼してください。
- 取り付けは、車両のメインスイッチを OFF にしエンジンを停止してから行ってください。
- 取り付け時、エンジンやマフラーが熱い場合は、やけどを防止するため時間を置いて冷ましてから作業をしてください。
- 取り付けはケーブルも含め、車両本来の動作や機能を損なわないように行ってください。
- コネクターの抜き差しは、必ず電源が入っていない状態で行ってください。
- 車両への固定は容易に取れたり外れたりしないように強固に行ってください。
- 本製品のコネクターには指や異物を入れないでください。
- 本製品を分解したり改造しないでください。

- マグネットは、磁気カード・パソコン・携帯電話・医療機器・その他電子機器などに近づけないように注意してください。磁気によってそれらが誤動作したり破損する恐れがあります。
- マグネットはブレーキディスクに吸着させて固定しないでください。マグネットは高温になると、磁力が低下します。吸着力が落ち飛散する恐れがあります。
- 本製品の検出結果は表示とロギングにのみ使用してください。絶対に車両の制御等には使用しないでください。

⚠️ 注意

- コネクターの取り外しは工具等を使用しないでください。必ず手でコネクタを掴んで行ってください。また、コネクタを取り外す際は、ケーブルを引っ張らないでください。
- ケーブルは適切な間隔で結束バンド等でしっかり車体に固定してください。
- コネクタは防水ですが、無理なケーブルの曲げ、オイル、薬品、経年劣化などによって防水性が損なわれることがあります。適時点検を行ってください。
- センサー、ケーブルにアルコール、ガソリン、シンナー、オイル、溶剤などが付着した場合は速やかに拭き取ってください。
- スピードセンサーは特殊なポリアミド樹脂を使用しています。この樹脂はアルコールに対して特に耐性が低いのでアルコールを付着させないようにしてください。

取り付け方法

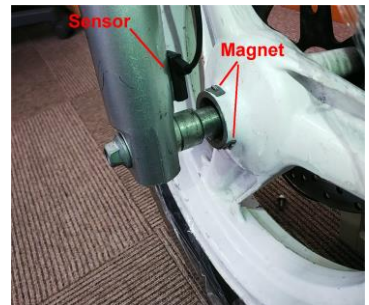
マグネット

マグネットは円筒形(Φ3 × 6 mm)で長手方向の両端がS/N極です。取付方向にS/N極の向きどちらでも構いませんが、すべて同じ向きにホイールまたはディスクプレートホルダー等に取り付けます。同じ向きにするために、マグネットを棒状に3個つなげてそれぞれの先端にマーキングをします。

マーキングがホイールの回転方向に対して同じ向きになるよう

にしてください。マグネットは等間隔に取り付けてください。固定は接着やテープなどで容易にとれないように強固に行ってください。ディスクホルダーに取り付ける場合は、なるべくアクスルに近く温度が高くない場所に耐熱性のある接着剤などで固定してください。

(ホイールリム部でも構いませんが、タイヤビードワイヤの磁気で動作が不安定になることがあります)



センサー

ステー(磁気を帯びる鉄などは避けてください)アルミ材などを使ってマグネットに対して図のような向きになるように取り付けてください。

マグネットの長手方向とケーブルの取り出し方向が同じ向きです。下図のように検出部がマグネットから概ね 25mm 以内になるように取り付けてください。

センサーのコネクタを本体ユニットの A/F・T1・T2・T3 のいずれかの空きコネクタに接続します。



マグネット数とタイヤ外周長の計測

ホイールの回転速度からマシンスピードを計算するために、事前にアプリでタイヤ外周長を設定します。マグネットは基本 3 個ですが、低速なコースなどでは 6 個まで増やすことが可能です。タイヤ外周長は平らなところでマシンを押し、タイヤを一周させてその距離を測ってください。

アプリの設定

Drogger アプリを開き、設定画面を開きます。

[計測]-[ホイールスピード]-[Front]の順にタップしてマグネット数とタイヤ外周長を入力します。



次に[計測]-[入力]の設定でセンサーを接続したコネクタから[フロントホイールスピード]を選択します。(リアホイールの場合はフロントホイールをリアホイールと読み替えてください)

動作確認

1. 本体ユニットの電源を入れアプリを Ready 状態にします。
2. マグネットを取り付けたホイールを手で回転させられるように、スタンド等で浮かします。
3. ホイールを手で回転させアプリのスピード表示が変化するか確認します。

お手入れ

センサー、ケーブルのお手入れは、薄めた中性洗剤を含ませたウェスで軽く拭いて汚れを落としてください。

トラブルシューティング

不具合内容	対処方法
スピードを検出しない	センサーをマグネットにより近づけてホイールを回転させ、動作するか確認します。近づけても動作しない場合は、ケーブルの断線、コネクタの差込不良などをご確認ください。
スピードの計測値が実際より遅い	ホイールに取り付けたマグネットが脱落していないか、破損していないか確認してください。
計測値が不安定	マグネットの向きが取付方法で示したように同じ方向か確認してください。

い。センサーが外れていたりぐらついていないか確認してください。センサーとマグネットの距離を、ホイールを手回して検出可能な範囲で遠ざけてください。この場合 25mm 以内でなくとも構いません。
ステータディスク板などが磁気を帯びていないか確認してください。

解決できない場合は、ホームページのサポートで追加情報をご覧ください。または、問い合わせページからお問い合わせください。

保証規定

本製品はセンサーに該当します。当社の責任保証期間は商品購入日から3カ月です。

正常な使用状態（本取扱説明書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理または代品との交換をさせていただきます。但し、お客様から当社への送料はお客様負担にてお願いいたします。

- 保証期間内であっても以下の場合には無償修理または交換をお受けすることはできません。
 - ご購入店およびお買い上げ年月日を証明するものが無い場合で、製造から6カ月以上経過している場合。
 - 使用上の誤り、他の機器からの影響による障害、改造による故障および損傷の場合。
 - 火災、落雷、異常電圧などによる故障および損傷の場合。
 - 消耗または摩耗、使用上の傷などによる故障および損傷の場合。
 - お客様のご要望による出張費用が発生する場合。
- 保証は日本国内においてのみ有効です。

SMS01 スピードセンサー 仕様

項目	値
計測方法	マグネット式ホイールスピード計測
測定可能範囲（マグネット3個）	12Inch: 0~310Km/h 17Inch: 0~380Km/h
マグネット数	3 ~ 6個
分解能	0.3Km/h
取り付け距離	マグネットより25mm以内
標準添付マグネット	6個
ケーブル長さ	60cm
防水・防塵	対応

免責事項

製品の使用、故障に伴う損害が生じた場合であっても、当社はその責任を負いません。

当社が法律上お客様の責任を負うべき場合といえども、当社の責任は法律上許される範囲内で、お客様の製品購入代金の相当額をもって上限と致します。

製造販売元

ビズステーション株式会社 〒390-0831 長野県松本市井川城 3-1-5

TEL 0263-87-4699 (9:00~18:00 月~金 祝日除く) FAX 0263-28-2966

<https://www.bizstation.jp/ja/drogger/>

(ご購入・修理・お問い合わせは上記 URL から行えます)

